

講評

051 『さくら灯り』 初日

<良い点>

花びらの白がとても美しく表現できていますね。背景中心にある白トビさせている部分もとても良いアクセントになっています。

<改善点>

ここまで美しく全体を表現できているんですから、もう少しだけ引いて撮ってみてはどうでしょうか？うまく構築できないからクローズアップして撮影したのかもしれませんが、ちょっともったいないような気がします。それができればさらに良い作品になったかなと思いました。

052 『歓喜のバラ』 トオル

<良い点>

強い光を浴びている様が表現できていて、力強さを感じる一枚ですね。背景の玉ボケもその一助となっています。

<改善点>

メインの撮影角度が真横すぎているせいで、前ボケの花びらが少しやかましくてピントを合わせた部分への視線が定まりにくいです。真横ではなく今よりやや上から俯瞰気味に撮影してみてもいかがでしょうか？よりメインの存在感を引き出せると思います。

053 『光りの輝き』 トオル

<良い点>

メインを際立たせる背景量がとても良く、かつ美しい玉ボケをはじめ全体的に光に包まれたような仕上がりになっているので、とても素敵だなと思いました。

<改善点>

メインのお花にピントが合っていないのはワザとでしょうか？だとしたら右の茎や葉の部分にもピントを合わさないようにしないとそっちに視線が持っていかれてしまいます。またはメインにピントを合わせたつもりならピントが甘すぎますので、しっかりピントを合わせないとせっかくの素敵な作品が台無しですよ^^

054 『天からの贈りもの』 トオル

<良い点>

明るい背景と玉ボケ、優しい花の前ボケなど全体を包む雰囲気がとてもうまく構築できていると思います。メインの花から出る葉の角度もよく、メインの存在感を引き立てていますね。

<改善点>

メインのディテールがソフトすぎて少し存在感が弱いのが勿体無いですね。優しく包まれている感じは残しつつ、もう少しだけディテールを出してあげると、より背景と合うのではないのでしょうか？背景に溶け込ませすぎるとメインも背景の一部になってしまいかねないので要注意です。

055 『ほとぼしる生命』 トオル

<良い点>

強く明るい背景に負けないようにメインもしっかり表現できていて、たくさんの宝石で散りばめられた中にさらに一番美しいものを見つけたような、幸せな気分させてくれる一枚ですね。

<改善点>

白トビをととても効果的に使えているのですが、どうしてもメインすぐ下の白とびが大きすぎて、少し気になってしまいますね。あと右側にあるピントが合ってしまった花も視線を持っていかれる一因となっています。その2点が改善できればさらに良くなると思いました。

056 『もう少し待ってね』 トオル

<良い点>

白トビをうまく活かして取り囲むような背景が、ディテールをしっかり出せているメインをより一層引き立てていますね。緑のバランスも良くかなり考えて作られた一枚だなと思いました。

<改善点>

メインの位置が写真中心に近くてやや不安定さを感じますので、今よりやや右に配置してあげることができればより安定すると思いました。あとは左下と下に少しある暗部をもう少し和らげてあげることによって視線の迷いもなくなるかなと思います。

057◎ 『強い願い』 トオル

<良い点>

流れるような作風が面白く、印象深い一枚ですね。右の空間を広くとっていることでよりその感じが強く出せています。背景の色味も素敵です。

<改善点>

メインの影?になっている暗部がやや強すぎて視線が奪われてしまうのが少し残念かなと思いました。そこを改善してあげることと、あとはノイズもやや気になりますので、対処してみてくださいませ。

058 『和の心』 トオル

<良い点>

優しい背景が印象的でそれがメインをふんわり浮かび上がらせているのが素敵ですね。良い背景が作れていると思います。

<改善点>

メインに関しても先の部分からピントを合わせた中心の花までは良いのですが、そこから上が少しやかましくて視線が迷いがちですね。そこをうまくボカすような角度で撮影するか、もう少し上の部分を切り取っても良かったかなと思いました。あと背景の右上角の暗部もやや気になるので明るくしてあげましょう。

059 『咲き誇る生命』 トオル

<良い点>

メインのピントの合わせ方、ディテールの出し方がとても良く、花本来の持つ美しさがしっかり表現できていると思います。

<改善点>

背景右下の色の濃い部分がもう少し優しく表現できていたり、メインの周りの部分がゴチャゴチャしていなかったりなど、背景をもう少し柔らかくかつスッキリできていればよりメインが引き立ったかなと思います。

060 『惹きつけられた美』 ひろこ

<良い点>

前ボケをしっかりと入れることで奥行きがでていますね。さらに奥にもボケを作れているのが良いと思いました。

<改善点>

右側の強い紫が気になって視線が奪われがちになるのが残念ですね。あとはメイン左隣も存在感が強すぎてメインの邪魔になってしまっています。その2点が改善できればさらに良くなると思いました。

061 『双子の耀き』 ひろこ

<良い点>

被写体を対にして配置することで、よりメインの存在感が出ています。左右の明るい緑もメインの紅色をうまく引き立てていると思います。

<改善点>

全体的に白トビが強すぎて視線が奪われがちになってしまってます。もう少しやわらかくしてあげましょう。写真下の部分に不要な明部や暗部がいくつかあるので、少し下を切り取ると良いかなと思いました。

062 『雨と風』 ひろこ

<良い点>

手前、メイン、奥としっかり奥行きのある角度で撮れているのが良いと思いました。

<改善点>

全体的にブレてしまっていて、視線が定まらないのが残念ですね。ワザとブレさせているのなら、視線が迷わないようなブラセ方を考えてみてください。そうでないのならしっかりシャッタースピードを稼いで、ピントをしっかりと合わせることをまず第一に考えていきましょう。

063 『美しくて夢の世界』 ひろこ

<良い点>

上半分の背景の作り方がとても良く、露出や色味、配置もうまくできていると思います。メインの位置も安定感があって良いですね。

<改善点>

右下の前ボケの存在感が強すぎてメインを邪魔してしまってますね。もう少し控えめに入れてあげると良いでしょう。またメイン下の枝の部分もディテールがやや強すぎますので、撮影角度を微妙に変えたりして弱めてあげましょう。

064 『手のひらの宝物』 トオル&ひろこ

<良い点>

ピントを合わせた部分がとても良く、落ちてしまった？儚い生命を感じさせてくれます。白の明るさも良いですね。

<改善点>

せっかく手のひらに乗せたのなら、それが分かるようにもう少し引きで撮ると良かったかなと思いました。そうすることでこの生命の小ささやか弱さなども表現できたかなと思います。あとは手のひらの色味がやや赤？やマゼンタ？が強く感じられて不自然な気がするので、なるべく自然な色味にしてあげましょう。

065 『旅立ち』 ひろこ

<良い点>

眼にしっかりピントが合っていて生命感が強く出せていますね。またうまく黄色を背景に持ってこれているのでメインの色味がとてもよく目立ちます。

<改善点>

右を向いている被写体に対し、右の空間が狭いので少し息苦しいですね。トリミングでしっかりバランスを取り構図を安定させてあげましょう。絞りを開けすぎているせいか被写体のボケ味が強すぎて存在感がやや弱く感じます。ボカすにしてももう少し絞って柔らかいボケにしてあげると良いかなと思いました。

066 『安らぎ』 ひろこ

<良い点>

色トビをしっかりと抑えた優しい背景が素敵ですね。枝の部分もうまくボカせられているのも良いです。

<改善点>

ピントが花ではなくその根元に合ってしまったのが非常に勿体無いですね。この場合だと花びらの先端に合わせてあげるとメインの生命感が出て良かったかなと思います。ピントは大切ですよ～^^

067 『希望』 ひろこ

<良い点>

お花の開いている向きにしっかり空間が取れていて安定感のある構図ですね。

<改善点>

背景の白トビ部分が広すぎて単調になってしまっています。これくらいの白トビが使い方によっては有効なので、もう少し変化のある背景にしてあげると良いでしょう。

068 『さくら色の春』 美織

<良い点>

メインの量と背景の量のバランスが良いですね。背景のやや濃いめの色味もメインの白を引き立てています。

<改善点>

メインの茎の部分とそれにつながる赤い部分の主張が強すぎますね。それぞれのカラーを調整して赤の

彩度や輝度を下げてあげたり、茎の部分の暗部をやわらげてあげたりして、花よりも目立たなくさせてあげると良いでしょう。

069 『春色の風』 美織

<良い点>

グリーンからブルーに変わっていく背景が面白いですね。メインを斜めに配置できているのも良いと思います。

<改善点>

ピントを合わせた蕾の白トビがきつく、細かなディテールがなくなってしまうのが残念です。右上の前ボケもやかましくそこに視線が持っていかれてしまいますね。また茎の存在感も強すぎる気がします。面白い背景を活かすために、メイン全体をもう少し優しく撮ってあげれば良いかなと思いました。

070 『白い妖精たち』 美織

<良い点>

前景、メイン、後景と全てを同じ被写体でしかも白という色味、とても難しいチャレンジだと思いますが、白トビをうまく抑えつつ、奥行きも感じられる構図で撮影できています。

<改善点>

前ボケの量がやや多く、ピントの合っている部分が少ないので、この割合を逆にできれば被写体の存在感が強く伝わってきたかなと思いました。あとは右下の人工物の存在感が強すぎて視線が奪われがちですね。入れるのは良いとしてももう少し暗部を和らげるなどをして存在感を弱めてあげると良いでしょう。

071 『みんなの原っぱ』 彩子

<良い点>

広大な景色を良い角度で撮影できているので、奥行きがしっかり感じられて広さが伝わってきます。どの部分をとっても露出が良いおかげで全体をひとつの風景としてちゃんと見ることができますね。

<改善点>

仕方のないことですが、手前の花の数が少なくてやや寂しい印象を受けます。花を増やすことはできないので、できるだけたくさん写し込める場所を選んだり、手前の領域を狭くするなどして明るく前向きな印象を与えられるようにしてあげると良かったかなと思いました。

072 『雪の中のピオラのしずく』 IKU

<良い点>

取り囲むように存在する背景は氷でしょうか？とにかくそれがとても面白く、かつうまく表現できているので、この写真にとっても良い雰囲気が出ていますね。メインの色合いにもとても合っていると思います。

<改善点>

雫のディテールが弱いのが残念ですね。印象の強い背景に負けてしまっている気がします。背景に釣り合うようにしっかり表現してあげることで、メインと背景の両方が生きていると思いました。

073◎ 『小春日和・恋桜』 IKU

<良い点>

ピントの合わせたところが素晴らしく、存在感がしっかりあるおかげで、ボカした部分もメインを引き立てる役割がしっかり果たせています。背景も明るすぎない強めの青にすることでメインとのバランスがうまく取れています。

<改善点>

とても良い作品に仕上がっていると思いますが、一点気になるのがメインの上の空間が広すぎると同時に下の空間が狭すぎるところですね。やや不安定さを感じます。あともう少しだけメインを今より上に配置できていれば、パーフェクトでしたね。

074 『紅の中・しずくと光』 IKU

<良い点>

雫の中の光条がとても良いアクセントになっていて素敵ですね。また枝が微妙な角度で斜めに配置できているのも自然らしくて良いと思いました。

<改善点>

難しいとは思いますが、雫の中のディテールがもっとハッキリと見えていればさらに良かったかなと思います。同時に背景もここまでのっぺりさせてしまうのではなく、なんとなくディテールが感じられた方が単調でなくなり奥深さが出るかなと思いました。

075◎ (準グランプリ) 『渡り蝶・美と美しさ』 IKU

<良い点>

眼だけでなく吻の部分にもピントが合っていて、とても生命感が伝わってきました。蝶全体を見切れずにしっかり写し込めているだけでなく左の空間が適量なのでとても安定感のある構図が構築できています。花の茎も左下角から対角線上に出つつも途中から変化があって深さが出ていますね。

さらに右下に前ボケの花を配置することでこの蝶が次にこの花の蜜を吸うのではという、この先の未来の時間を感じさせてくれます。また背景にも草花をやわらかく配置できていて非の打ちどころのない素晴らしい作品に仕上がっていますね。準グランプリに相応しい作品だと思いました。おめでとうございます。

<改善点>

強いというなら前ボケの花の黄色が少し暗めなところでしょうか？その暗さにやや視線が持っていかれがちになるので、この部分だけ少し明るくしてあげると良いかなと思いました。

076 『淡く春めいて』 IKU

<良い点>

背景に花が溶け込むような優しい色合いがとても素敵ですね。それでいてメインの存在感もしっかり出せていると思います。

<改善点>

少しだけ右の空間が広すぎてやや不安定さを感じます。ほんの少しで良いので右を狭めてあげると安定するかなと思いました。メインのピントが少し甘いのも気になります。シベの先端にしっかり合わせてあげることでより存在感が出るでしょう。

077 『秘密』 ひろこ

<良い点>

左半分の背景はちょうど良い明るさで変化もありつつ色味も良く、とてもうまく構成できていると思います。

<改善点>

メインのピントが甘く存在感が弱いのが残念ですね。花より茎の部分に視線が奪われてしまいます。また右下の色トビした葉も気になりますね。これは写し込まないように撮影した方が良かったと思いました。

078 『和』 ひろこ

<良い点>

メイン以外の花をしっかりとボカシつつ、メインがこちらを向いていて、さらにシベにピントが合わせられていて存在感がとても出せていますね。茎の緑も柔らかく背景も渋みのある色味で素敵だなと思いました。

<改善点>

メイン右上の蕾とその付け根付近のディテールが強すぎてそこに視線が奪われがちになるのが残念ですね。それさえうまく処理できていればとても良い作品に仕上がっていたかなと思いました。

079 『トップガン』 ひろし

<良い点>

しっかりと強い玉ボケを作り、そこに向かって飛んでいくような構図、意図がしっかりと伝わってくる点が良いと思いました。黒の露出も良いですね。

<改善点>

やはり動物を写しているの、この角度とはいえなんとか眼を写しこみ、さらにそこにピントを合わせることで生命感が強く出せると思います。かなり難しいチャレンジですが、やり遂げた先に出来上がる作品はきっと素晴らしいものになるに違いありません。

080 『美味し〜い!』 ひろし

<良い点>

大胆な構図でかつ雫がとても面白く、この瞬間をとらえられたことが素晴らしいですね。蝶の入れ方も良いですし、黒と白の露出も良いです。

<改善点>

それだけに眼と雫にピントが合っていないのが非常にもったいないです。眼と雫の両方にしっかりとピントが合わせることができていれば、とても印象のある作品に仕上がっていたでしょう。あと左の茶色の部分は不要でしたね。

081 『パラボラアンテナ』 ひろし

<良い点>

うっすらとグラデーションが感じられる背景に、これまた素朴なメインを配置することで、まるで絵のような一枚に仕上がっていて素敵ですね。それでいてピントをしっかりと合わせられているので存在感も出せています。

<改善点>

左下に写っている、横から飛び出てきたような緑の部分が不要でしたね。視線が持っていかれてしまいます。より良い作品づくりのためには編集で消してしまっても良かったかなと思いました。

082 『春色』 ひろし

<良い点>

全体を優しい色合いで構成できているのが素敵ですね。左やや上の方にうっすらと写っているシベの黄色が良いアクセントになっています。

<改善点>

ピントを合わせた部分や量がベストだったのか、少し疑問が残りました。また右上のボケたシベも不要かなと思います。見せ方としては面白いので、ピントの合わせる場所や量をもっと考察して、より美しさがしっかり伝わるような作品づくりにチャレンジしてみてください。

083 『春の園』 Akiko

<良い点>

全体的な明るさや色味が優しく、とても良い雰囲気が出ていると思います。背景のピンクとグリーンバランスも良いですね。

<改善点>

メインを右に配置したのは良いのですが、少し右すぎかなと思います。もう少しだけ左に寄せてあげると構図が安定するでしょう。また左の背景のディテールが弱すぎて奥行きがなくなってしまう気がします。絞りの開けすぎかなと思いますので、もう少し絞ってやんわりとディテールを出してあげると良いでしょう。

084 『駒ヶ岳からの富士山』 廣輝

<良い点>

横長の構図にすることで広い世界観を感じますね。空と雲のバランスも良く、全体の色味も美しいです。

<改善点>

手前が広すぎるせいで視線が奥に届きにくいですね。もう少し手前の領域を狭くしてあげましょう。あともう少しだけ下からのアングルにすることで富士山の高さを出せて、より存在感が強くなると思いました。

085 『駒ヶ岳からの富士山と芦ノ湖』 廣輝

<良い点>

思いきり右に配置した青空と富士山、左には厚い雲に湖と一枚の中に変化が感じられて面白いですね。左から右に視線が動かせるのが楽しいです。

<改善点>

これも前景（手前の部分）が気持ち広いかなと感じます。少しだけ切り取ってあげると良いでしょう。そしてやや奥がかすみ過ぎていて印象が弱く感じますので、違和感のない程度にかすみの除去をしてあげると良いかなと思いました。

086 『田貫湖からの富士山』 廣輝

<良い点>

湖と富士山、そして空のバランスが良いですね。それら3つがうまくまとまっています。

<改善点>

左の山の存在感が強過ぎて富士山の邪魔をしてしまっているのと、右側の露出が明る過ぎてそこに視線が奪われがちになるので、縦横比を若干変えて左右をバランスよくトリミングしてあげると良いかなと思いました。あとは湖面に浮かぶ生物？と左に走る軽トラはあまり良いアクセントにはなっていないかなと思いますので、消してしまっても良いかなと思いました。

087 『桜ワールド!』 久美

<良い点>

ピンクの印象が強くて鮮烈ですね。ピントの合わせたところも良く、生命感がしっかり伝わってきます。

<改善点>

やや下の空間が狭くて窮屈かなという点と、背景のディテールが強過ぎてそっちに視線が引っ張られてしまう点を改善したいですね。特に背景はもう少しボケ味を強くしてあげると良いと思いました。

088 『波動砲』 MASATO

<良い点>

クローズアップした部分とピンとを合わせた部分が良いので、この花の良さをしっかり引き出せていると思います。全体の露出や色味も素敵ですね。

<改善点>

中心よりやや右上の白い部分が広過ぎて視線が持っていかれてしまうのが残念ですね。その部分にもう少し変化を持たせられれば良かったかなと思いました。

089 『雲海』 MASATO

<良い点>

前ボケの量と配置が絶妙で、かつピントを合わせた部分のディテールもしっかり感じられて、奥のボケ味もよく、生命感をとても強く感じました。

<改善点>

それだけに右の白っぽい単調なボケは左とは合っていないなと感じてしまいます。入れるのはほんの少しだけで良かったかなと思いました。その部分が非常にもったいなかったですね。

090 『陽を想ひて』 MASATO

<良い点>

青い空にヒマワリ、パワーを感じる素敵な一枚ですね。右に空間をしっかりと取れているのが良いと思います。

<改善点>

絞りを開け過ぎているのか、ピントの位置が少しずれているのか、ヒマワリのピントが甘く存在感が少し弱いんですね。そして空の色がややマゼンタがかってしまっていて不自然なのも残念です。

091 『花見場所取りフリー』 MASATO

<良い点>

下からのアングルが木の大きさや背景に奥行きを与えられていて、とても良いと思いました。空の青さも自然で素敵ですね。

<改善点>

どうしても右の人工物が気になってしまいます。入れないようにするのは無理だと思うので、今の立ち位置よりももう少し右から、やや左に向かって撮影し良いアクセントになる量にしてあげましょう。また右端の影になっている部分も視線が持っていかれてしまうので、影を作らないような配置をしてあげましょう。

092 『こんにちは!』 TAKA

<良い点>

木と海と空、そして飛行機雲。ここで同じ風景を見たいなと思わせてくれるような素敵な一枚だと思います。

<改善点>

手前の地面の部分と右上の明るすぎる部分を減らすことで、見てもらいたい部分がしっかり凝縮されて視線が迷わなくなると思います。あとほんのわずかですが水平が取れていないので(やや右下に傾いているので)、角度調節をしてしっかり重力に従い水平にしてあげましょう。

093 『夢見るつぼみ』 TAKA

<良い点>

薄いピンクから濃いピンクまで、いろんなピンクがそれぞれにしっかり表現できている点が素敵だなと思いました。背景の玉ボケも主役を引き立てていますね。

<改善点>

背景のディテールが出過ぎていて少しやかましい気がするので、もう少し柔らかくしてあげると良いと思います。また右の枝の存在感もやや強過ぎて視線が奪われがちなので、もう少し入れる量を少なくしてあげると良いかなと思いました。

094◎ (準グランプリ) 『冬ばらのファンタジー』 TAKA

<良い点>

被写体に対する撮影角度とピントの合わせた位置がとても良く、主役の存在感がしっかりと出ています。そしてその強い存在感に負けないけれど決して目立ち過ぎない程度に、変化のある背景をうまく構築できていると思いました。縦構図にして一見窮屈そうに見える構図ですが絶妙な分量でバランスがあって良い緊張感があり素晴らしい作品に仕上がっていると思います。準グランプリおめでとうございます。

<改善点>

とても些細な部分になるのですが、一番右側にある花びらの下に見える粒みみたいなものと、写真下側(中心よりやや左)にある黒っぽい部分がほんの少しだけ気になってしまうので、粒は消して、黒っぽい部分はトリミングしてあげると、よりずっと見続けていられるようになるかなと思いました。

095 『晩秋のひかりの中で』 TAKA

<良い点>

眩しい背景にまるで紅葉が燃えているような、強烈な印象を与えてくれる一枚ですね。主役と背景のバランスが良いからこそその作品だと思います。

<改善点>

右下の別の紅葉はない方が良かったかなと思いました。とはいえ流石にこの量は消すことができないので、うまく入れないような撮り方ができていればさらに良くなったかなと思います。

096 『きらめき』 花絵

<良い点>

メインにしっかり陽が注がれ、視線が迷わないのが良いですね。そのおかげか左の色トビもそんなに気になりません。背景も柔らかくて良いと思います。

<改善点>

ただ、僕の感性が足りないのか、写真の出来の割に伝わってくるものが少ないかなと感じてしまいました。すみません。何をどう伝えたいのか、もう少し分かりやすい撮り方をしてもらえるとありがたいなと思いました。

097 『後ろ姿が可愛くて』 花絵

<良い点>

ややアンダーな背景ですが、そのおかげでそれぞれの色味が柔らかく表現できていて、かつ変化も感じられて、主役を引き立てる存在になっていると思います。

<改善点>

それだけにメインの存在感が足りなく感じてしまいました。撮影角度があまり良くないからか花よりも枝に視線が行ってしまいますね。花をしっかりこちらに向ける必要はありませんが、もう少し花の存在感が出せる角度で撮影できれば良かったかなと思いました。

098◎ 『杏の精』 花絵

<良い点>

ピントの合わせた部分が良く、かつ花の開いている角度も良いので、主役の生命感が強く感じられてとても素敵ですね。周りに行くに従ってボケが強くなっていったところも、うまく視線が誘導できていて素晴らしいです。

<改善点>

ややメインの位置が上すぎるのと、背景の右や下の暗部が少し気になるので、写真の右と下を少しだけトリミングしてあげるとより良い作品に仕上がるかなと思いました。

099 『森のサザンカ』 AKEMI

<良い点>

主役を右端に配置した大胆な構図に、それ以外を全てボカしつつしっかりと変化の感じられる背景。とても良いチャレンジだと思いました。全体の明るさや色味も良いですね。

<改善点>

せっかくここまで大胆な構図にしたのですから、より完成度を高める必要があるかと思いました。メインの花を今の位置よりほんの少し右下に配置できれば、この構図がより安定したかなと思います。

100 『Pink Pearl』 AKEMI

<良い点>

一見、何だこれとはスルーしてしまいそうになりましたが（笑）、じっくり見ていると味があって面白い作品だと思います。特に雫の中の世界が素敵だなと思いました。また雫に左にある薄紫の花びらみたいなのも美しいですね。

<改善点>

個性的な作品なので特にどうすべきとは思いませんが、雫の位置が今よりやや左下にあった方が安定感が出るかなと思いました。